



# 杵岐高便り 第190号

発行責任者  
濱野 正義



携帯  
サイトへ

長崎県立杵岐高等学校

長崎県杵岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL] 0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

## 巻頭言

### Autumn is the best season for Sports and Reading.

校長 濱野 正義



40年以上も前のこと。私は中学1年の夏、県大会で同じチームの先輩のお陰で偶然にも優勝し、九州大会に参加する機会を得ました。参加選手たちは、その大会の1週間前から会場である熊本で、全国に向けての強化練習を兼ねて合宿をするというような時代でした。集まった選手は、一流選手ばかりで、全国レベルの選手たちと一緒に練習ができることに有頂天になっていました。

しかし、そういう一流選手たちへの憧れ、尊敬の気持ちは3~4日過ぎると色あせ、彼らの悪いところが少しずつ見え始めました。そして、軽蔑への気持ちへと変わっていったあの時の感情を今でも覚えています。彼らは、後片付けなどいっさいすることなく、周りがやっても知らんぷりでした。仲間への挨拶もろくにしませんでした。強い選手=えらい人間だと勘違いしているのが彼らのすべての言動にあらわれていました。

今年活躍したオリンピック選手たちのインタビューを見て、多くの一流選手は、スポーツを通して人としてのマナーをきちんと身に着けていると感じました。とは言っても、なにも一流選手だけがそうできるのではありません。杵岐高生もスポーツを通して、礼儀や仲間とともに汗を流して努力することのすばらしさを学べるのです。顧問の先生は、君たちに技術だけを教えているわけではありません。君たちが卒業したあと、ずっと役に立つマナーを教えているのです。

私は杵岐高生に、「この人なら、この先輩なら心から応援したい」と同級生や下級生から思われる人間になってほしいと願っています。

次に読書についてです。世の中にはあふれるほどの本があります。Google社の推定では、2020年の時点で、雑誌を除いて約1億3千万の本があるということです。にもかかわらず、本を読む人の数は激減しています。

君たちのおじいさん・おばあさん、あるいはひいおじいさん・ひいおばあさんが子どもの頃はどうかたのでしょうか。何かを学ぶためには、親が子に口頭で伝承する以外には、書物しかなかったのです。人々は先を争って本を読んでいたのだそうです。良い本は、良い先生であると、良い本に良い先生にめぐり合うことが理想の人生だと考えられていたそうです。

生徒のみなさん、今あるたくさんの本の中から、良い本に出会いましたか。良い先生にめぐり会いましたか。まだだという人は、すぐにも図書館に行って、一冊の本を手にとりましょう。読書の途中でつまらなくなることは誰しもが経験することです。そんな時は、少し休憩して再び読み始める忍耐力を身につけましょう。最後まで読めば、何かを感じる、何かを得られると信じて読み続けましょう。

そして、忘れてほしくないことは、先生方も本と同じように君たちにとって大切な存在だということです。まだ良い先生に出会ってないという人は、まず杵岐高で習っている先生方をよく見て、その先生の話をよく聞くことです。素直な心で先生方と接すれば、本以上のものが得られるはずで、君たちにとって、人生に大きな影響を与える本や先生は案外身近なところにあるものです。

スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋、食欲の秋、実りの秋。コロナ禍の中、いろいろなことに制限がかり、思う存分にはこの秋を楽しめないかもしれない。

それでも杵岐高生、いろんなことに挑戦せよ！



## 第 3 学 年 よ り

8月2日(月)～8月7日(土)の6日間にわたり、校内学習合宿を行いました。自学を中心にしながらも、質問・基礎・難関講座、公務員・就職試験対策、面接指導など、個々の志望やコースに応じた取組を行いました。一斉学習の会場となったコモンホールを、事前に生徒と職員で作成した檄文で装飾したり、午後の学習の集中力を高めるために午睡を取り入れたりするなど、学習が行いやすいよう企画しました。事後の生徒アンケートにも「周囲の頑張りに後押しされた」「約10時間という学習時間があつという間に感じられた」「このような企画をしていただいたことに感謝したい」など前向きな感想が多く述べられていました。

保護者の皆様、2学期はいよいよ受験に臨むお子様も増えます。より一層のサポートをいただくことになるかと思えます。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



## 第 2 学 年 よ り

8月20日(金)から2学期がスタートしました。元気に登校する生徒の皆さんの姿を目にして嬉しく思いました。開始式後、学年集会を実施しましたが、体育祭のダンスリーダー男女1人ずつと、他校生との学習交流会に参加した生徒1名に話をしてもらいました。行事は延期になりましたが、体育祭への熱い意気込みやリーダーシップ、積極的に学習に向かう姿勢がそれぞれ伝わり、学年として清々しいスタートとなりました。また、学年主任より、現在私達が直面している地球温暖化などの問題は、若い世代によって解決策が見つかる、その実現には高校で様々な努力をすることが大切だと話をしました。若い力に期待しています。

保護者の皆様、様々な活動が制限される昨今ですが、できる限りのことを模索していきたいと思えます。今後ともご支援よろしくお願いたします。



## 第 1 学 年 よ り

いよいよ2学期がスタートしました。7月末には、スタディキャンプを実施しました。教室でする自学とは異なり、集中力もいつもより増したように感じます。家庭学習においても、この質の高い学習習慣を継続しましょう。杵岐高テストも実施されましたが、結果はどうだったでしょうか。夏休みに学習した内容が大きく反映されるテストだったはずで、自身の取組を振り返り、2学期の学習の糧にしてください。

部活動では、新型コロナウイルス感染症や熱中症対策のため、さまざまな制限があったと思えます。与えられた条件のもとで精一杯努力を続けてほしいと思えます。学校行事の場で活躍する76回生の姿を楽しみにしています。

保護者の皆様、いつもご協力いただき有難うございます。2学期も引き続き、お子様と共に学校生活が充実したものとなりますように支援してまいります。



7月29日(木)に行われた学校説明会の様子

## 壱岐高Topics!

### ▼8月9日 平和学習



今年は放送部による被爆者の手記音読、そして被爆76周年長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典の中継を見ることで、戦争、そして平和について改めて考える時間になりました。今年もオンラインでの実施ではありましたが、生徒たちは真剣な面持ちで耳を傾けていました。

手記の音読を行った1年5組の山本拓真さんは、「最初に読んだとき、とても悲しく、心が痛んだ。同時に、これを読むなら聞く人全員に当時の悲惨さや人々のつらさが伝わるよう、できる限りの表現をしたいと思った。平和学習を通して、多くの人が思いやりのある優しい心を持てるようになったら」と感想を述べました。

戦後76年。戦争を生で経験した方々がどんどん減っている今、「戦争」を過去のものとして、その延長上にある核兵器廃絶などの現代の問題に取り組んでいかなければなりません。



平和祈念式典を見つめる生徒たち

### ▼ 高校生のあなたへ

「共感する力」を身につけましょう。

ただし、「共感」と「同感」は違います。共感するために、相手と同じ意見になる必要はありません。

たとえば、友だちに『お腹が痛い』と伝えるとして、『それはつらいね』って言われたら、寄り添ってもらえた気がして、なんとなくうれいでしょう。これが共感です。でも、『私も！』って言われたら困りませんか。これが同感です。結構違いますよね。

「合わせる」のではなく、「寄り添う」心を大切に。



## 9月行事予定

①1年 ②2年 ③3年  
8月23日現在

1	水		
2	木		
3	金		SC
4	土		
5	日	公務員国家一般③ 就職出願開始③	
6	月		SSW
7	火	情報教育(オンライン)	
8	水	Classi研修	
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		通
13	月		SSW
14	火	PMコアハイスクール(東ア①,歴②)	
15	水		
16	木	7校時：LHR(後期自治委員選出)	
17	金		SC
18	土	進研マーク模試③ 進学ゼミナール チーム東大②	
19	日	進研マーク模試③	
20	月	【敬老の日】 学校開放	
21	火	PMコアハイスクール(東ア①,歴②)	
22	水	考査時間割発表	
23	木	【秋分の日】	
24	金		SC
25	土	学校開放	
26	日		通
27	月		SSW
28	火		
29	水		
30	木	中間考査①②③ 受験用写真撮影③	

# 各分掌から

## 生徒支援部より

三者面談の中で、スマートフォンの使用に関するご相談やご意見がありました。「21時を過ぎてもSNSの通知がきて学習に集中できない」という生徒の声や「そんなに頻繁に何の連絡がきているのか心配だ」という保護者の方の声もありました。ネット上ではSNS上の名誉毀損や「グループ外し」などのいじめに関する記事で溢れかえっています。

生徒の皆さんの声の中には「本当は学習に集中したいけれど、返事を求められていたり、グループ内での通知の場合も、返事をしないと仲間外れになりそうで怖い」という声もあったようです。あなたが送ろうとしたまさにその時が、相手にとっては大事な時間かもしれません。何気なく送ったその一言が思いがけず相手を傷つけているかもしれません。軽い気持ちで載せた写真が全世界に広がり大きな問題に発展するかもしれません。夏休みが明けた今だからこそ、もう一度スマートフォンの使用やSNSについて親子で考えていただければと思います。

また、世の中には、SNSより大切なことがあります。人と目線を合わせて話すこと、本を読んで根拠のある正しい知識を身につけること、体を動かして汗を流すことなど、もっと素晴らしいものがたくさん

あります。今だからできることを考えてみてください。

## 進路支援部より

1、2年生は7月28日(水)～30日(金)の午後の時間を使い、「スタディキャンプ」を実施しました。3日間720分を通して自学を行うことで、これまでの自身の学習に臨む姿勢を見直し、今後の授業、家庭学習へ繋げるきっかけとなったようです。生徒からは「帰宅してからの時間の使い方を考えて学習したい」との声が聞かれました。

3年生は8月2日(月)～7日(土)校内学習合宿を実施しました。「集中力の強化と苦手分野の克服」という生徒代表の力強い宣言でスタートし、全員第一志望校合格という目標を掲げ、1日あたり510分の学習に励みました。自学だけでなく、難関講座や基礎講座も同時に開講しながら、自分としっかりと向き合いました。「周りの仲間が頑張っていたので、より集中することができた。」「あつという間だった。合宿を通して身に付けた集中力、質問や基礎講座で学んだことをこれからの学習に生かしていきたい。」と合宿を終えた生徒が述べてくれました。

## 東アジア歴史・中国語 コース

### 【 イベント盛り沢山の東アジアコースの夏!! 】

①7月末、1年生が筒城浜で行った末調査遺跡の発掘調査では老岐島内で出土例のない中国清朝銭、乾隆通宝が発掘されました。また、長崎外国語大学の中国人講師に來校頂き、座学のほか中国文化では太極拳を教わりました。②2、3年中国語専攻は上海外国語大学による遠隔授業で中国の大学教授による授業を1週間行いました。③8月は2年中国語専攻が長崎外国語大学で語学研修と県庁国際課の支援を頂きながら、県内の中国進出企業訪問や中国総領事館訪問など充実した研修を行いました。④2年歴史学専攻は対馬博物館の学芸員の方に対馬島内の遺跡や開館前の博物館など文字情報ではとても読み取れないような文化財担当者ならではの説明で充実した研修でした。今回の様々な取組を経て、2学期以降の学習への取組のモチベーションを高めていきたいと思います。



発掘調査時の平板実測



初めての発掘



休憩は海へ

対馬巡検 (木坂海神社)

